



少年非行等の概要について

(令和3年8月末 暫定値)

令和3年9月
秋田県警察本部人身安全対策課

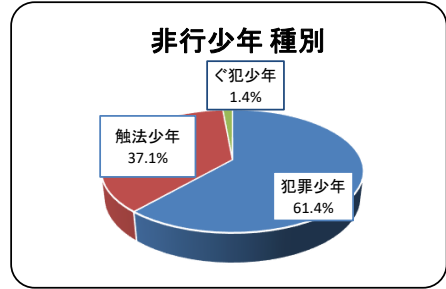
1 非行少年

(1) 検挙・補導状況

区分	年別	令2		3		増減(人)		増減率(%)	
		うち女子		うち女子		うち女子		うち女子	
総数		50	10	70	15	20	5	40.0	50.0
刑法犯	小計	42	8	56	10	14	2	33.3	25.0
	犯罪少年	26	6	32	8	6	2	23.1	33.3
	触法少年	16	2	24	2	8		50.0	
特別法犯	小計	6	2	13	4	7	2	116.7	100.0
	犯罪少年	4	2	11	2	7		175.0	
	触法少年	2		2	2		2		
ぐ犯少年		2		1	1	△1	1	△50.0	

【非行少年】

非行少年総数は70人で、前年同期に比べ20人（40.0%）増加した。

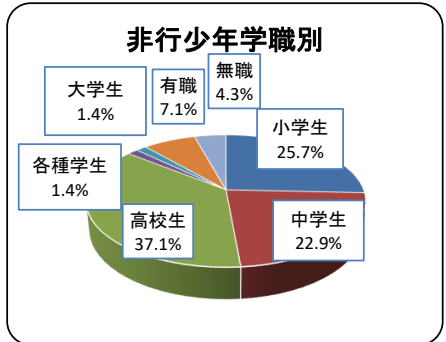


(2) 学職別

区分	年別	令2	3	増減(人)	増減率(%)
総数		50	70	20	40.0
小計		36	62	26	72.2
小学生		8	18	10	125.0
中学生		18	16	△2	△11.1
高校生		9	26	17	188.9
大学生		1	1		
各種学生			1	1	
有職少年		11	5	△6	△54.5
無職少年		3	3		

【学職別】

高校生が37.1%を占める。



(3) 刑法犯（犯罪・触法）罪種別

区分	年別	令2	3	増減(人)	増減率(%)
総数		42	56	14	33.3
凶悪犯	小計				
	殺人				
	強盗				
	放火				
	強制性交等				
粗暴犯	小計	6	13	7	116.7
	暴行	4	8	4	100.0
	傷害	2	4	2	100.0
	脅迫		1	1	
	その他				
窃盗犯		26	32	6	23.1
知能犯	小計	2	1	△1	△50.0
	詐欺	2	1	△1	△50.0
	横領				
風俗犯	小計				
	賭博				
その他		8	10	2	25.0

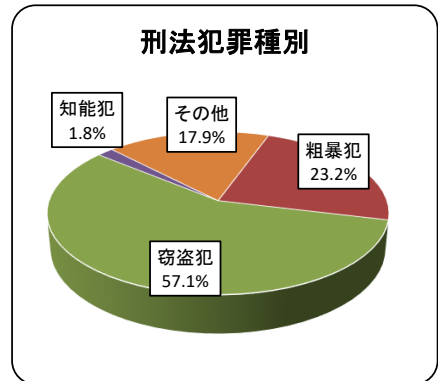
【刑法犯罪種別】

粗暴犯は13人で、前年同期に比べ7人（116.7%）増加。

窃盗犯は32人で、前年同期と比べ6人（23.1%）増加。

知能犯は1人で、前年同期と比べ1人（50.0%）減少。

その他の刑法犯は10人で、前年同期に比べ2人（25.0%）増加。



※ 統計図表中の構成比は、四捨五入してあるため総計が必ずしも100.0にならない場合がある。

(4) 初発型非行検挙・補導状況

区分	年別	令2	3	増減(人)	増減率(%)
総	数	23	28	5	21.7
窃盗	万引き	20	27	7	35.0
	オートバイ盗				
	自転車盗	1	1		
占有離脱物横領		2		△2	△100.0
刑法犯検挙・補導少年総数(占める割合)		42 54.8%	56 50.0%	14 △4.8P	33.3

【初発型非行】

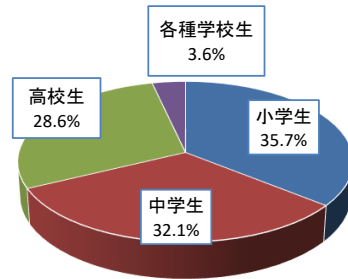
初発型非行で検挙・補導された少年は28人で、前年同期に比べ5人(21.7%)増加。

また、刑法犯少年総数に占める割合は、50.0%で前年同期と比べ4.8ポイント減少。

学職別では、小学生が10人で最も多く、中学生が9人、高校生が7人、各種学校生が1人であった。

区分	学職	総数(人)	万引き	オートバイ盗	自転車盗	占有離脱物横領
総	数	28	27		1	
小	学 生	10	10			
中	学 生	9	9			
高	校 生	8	7		1	
大	学 生					
各	種 学 校 生	1	1			
有	職 少 年					
無	職 少 年					

初発型非行学職別



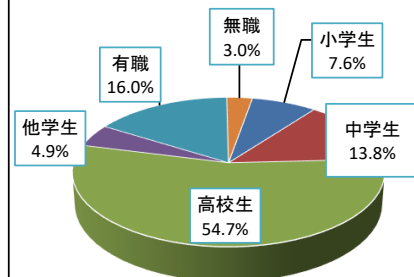
2 不良行為少年補導状況

行為別	年別	令2	3	増減(数)	増減率(%)
総	数	380	369	△11	△2.9
飲	酒	36	15	△21	△58.3
喫	煙	53	42	△11	△20.8
薬	物 乱 用	1	2	1	100.0
粗	暴 行 為	51	43	△8	△15.7
刃	物 等 所 持	1	1		
金	品 不 正 要 求	1		△1	△100.0
金	品 持 ち だ し	8	6	△2	△25.0
性	的 いた ず ら		1	1	
暴	走 行 為	4		△4	△100.0
家	出	64	43	△21	△32.8
無	断 外 泊	5	3	△2	△40.0
深	夜 はい か い	130	184	54	41.5
怠	学	9	8	△1	△11.1
不	健 全 性 的 行 為	6	16	10	166.7
不	良 交 友				
不	健 全 娛 楽	11	5	△6	△54.5
そ	の 他				

【不良行為少年】

行為別では、深夜はいかいが184人で最も多く、次いで粗暴行為、家出が43人となっている。

不良行為少年学職別



※ 統計図表中の構成比は、四捨五入してあるため総計が必ずしも100.0にならない場合がある。